

## 寄贈化石標本紹介（その2）

<地質標本館<sup>1)</sup>>

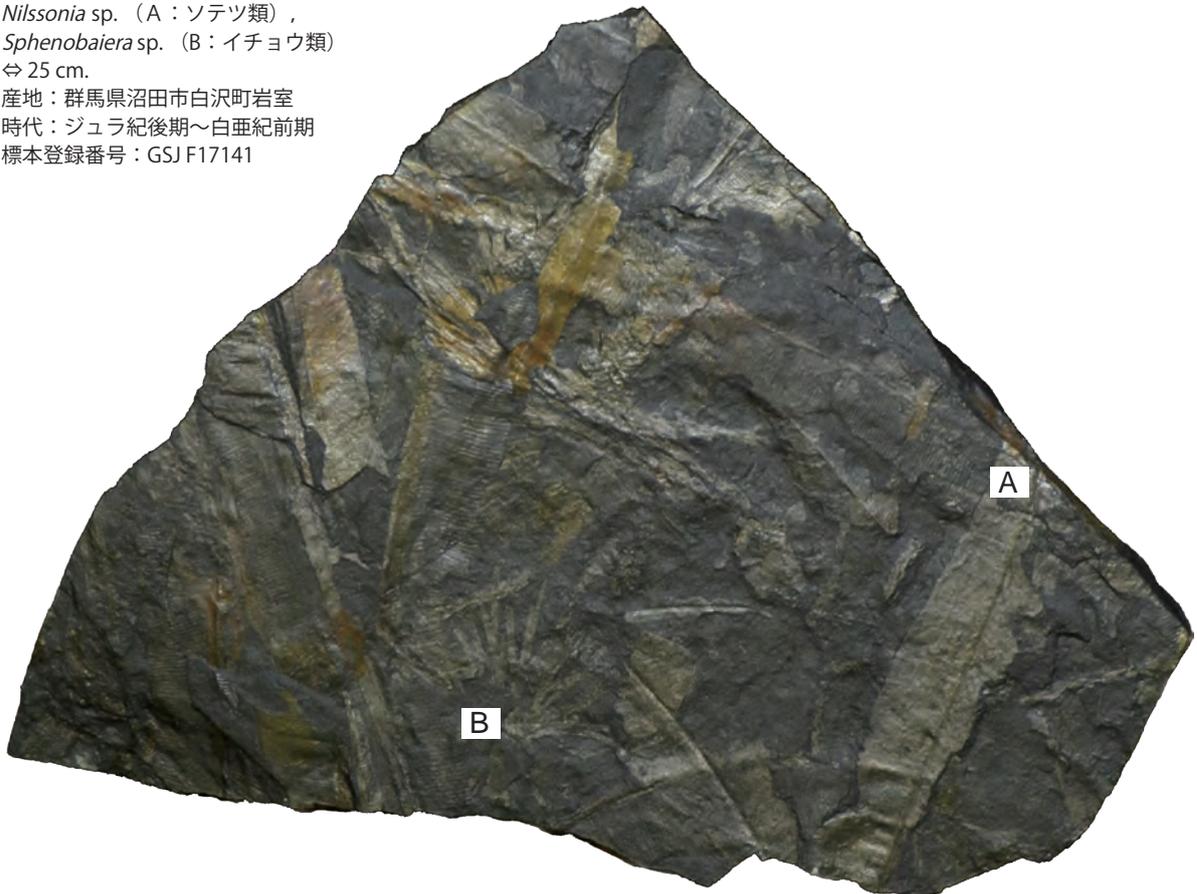
地質標本館に寄贈された井上浩吉氏の化石標本のうち、今回は国内産の標本を紹介します。写真1は、1991年の寄贈標本で、すでに地質ニュース445号（1991年9月号、p.61）でも紹介されていますが、今回、口絵カラーで再掲しました。千葉県鋸山からは新第三紀中新世のオキナエビスの化石がたくさん産出しています。

写真2は、2007年の寄贈標本で、中生代の植物化石です。日本の中生代の地層には、ソテツやイチョウなどの裸子植物のほかにシダ植物の化石も多く知られています。



写真1 *Petrotrochus* sp.（ヒメオキナエビスの一種） ⇔ 12 cm.  
産地：千葉県鋸南市鋸山  
時代：新第三紀中新世  
標本登録番号：GSJ F13518

写真2 *Nilssonia* sp.（A：ソテツ類），  
*Sphenobaiera* sp.（B：イチョウ類）  
⇔ 25 cm.  
産地：群馬県沼田市白沢町岩室  
時代：ジュラ紀後期～白亜紀前期  
標本登録番号：GSJ F17141



1) 産総研 地質標本館（文責：利光誠一、写真：中島 礼・青木正博）

Geological Museum (2012): Fossil specimens donated to the Geological Museum, GSJ, AIST, Part 2.